



夢に基づく政治

世界地図を開いて考えてみよう。

日露戦争では



地図の青い部分が当時のロシア。日本が戦ったのは日本の近くに

来たロシア陸軍や艦隊。勝ったと云っても大男が出した手に噛み

つき「あ痛、参った」と云わせた程度。ロシア本体に負けた意識は無い。

対米戦争では「真珠湾を攻撃したら、米国の大艦隊は反撃の為に日本近海に来る。そこで日本海海戦を再現して勝つ。真珠湾の損害で米国が意気消沈する」と希望した

らしい。実際には、逆に「真珠湾を忘れるな」で米国は戦意高揚。米

国にしてみれば一部に過ぎないハワイが攻撃

されただけ。本土の生産力は全く影響を受けていない。

日本の軍部は「すべて思い通りにいけば」という夢が作戦だと思

ったのではないか？

アベ首相は「プーチンを『ウラジミール』と呼べば南千島を返して貰える。カジノ法を通せばトランプが喜ぶ。南スーダンで武力行使すれば・・・」との夢。

日銀黒田総裁は「来年の景気は追い風に」と夢を語る。

日本の支配勢力は夢を現実と思つて政治をして来たのでは？

みなさんはどう思われますか？

石神井池

東京都練馬区石神井公園
二〇一六年十二月二十日



国木田独歩の「武蔵野」に書かれた雑木林はこの辺り。豊富な地下水が三宝寺池の各所で湧き出ていた。

今でも、池の周辺や池の中に何カ所も湧き水が出ている・・・と思つたが、実は地下水をポンプでくみ上げて出しているという。周辺の都市化で、湧き水が減ったのだそう。

三宝寺池からの流れを堰き止めて、石神井池が作られた。昭和初期のことである。

池の端には沢山のボートが停めてある。夏には貸しボートに乗る人々で賑わうが、初冬の今はお休み。

池の周囲には釣り糸を垂れる人、絵を描く人、ウォーキングに励む人が大勢。近くの石神井公園ふるさと文化館には小学生が社会科見学に。企画展示室では水彩画展覧会が盛況。

来週はお休みします

